

「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率

株式会社LDXL

算定対象となるエネルギー消費用途: 暖冷房(外皮:開口部の熱貫流率)・木造 窓、複ドア・引戸(大部分がガラスで構成される開口部)

こちらの対象製品性能一覧は、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会運営の「省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録済みです。  
下記製品は構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分は全て「1」となります。

Table with columns: 建具の仕様, ガラスの仕様, ガラス中空層の仕様 ※3, 開口部の熱貫流率 [W/(mK)] ※4, LDXL適合商品. The table is divided into sections for '樹脂製建具または木製建具' and '樹脂(または木)と金属の複合材料製建具 ※1'. Each section contains rows for different window types (e.g., ダブルLow-E三層複層, Low-E三層複層) and glass thicknesses, with corresponding thermal conductivity values and product lists.

※1 「樹脂(または木)と金属の複合材料製建具」とは、屋外の大半に金属、屋内の大半に樹脂(または木)を使用した構造をいいます。  
※2 「金属製断熱構造建具」とは、金属製の建具で、その枠及び框等の中間部に樹脂等の断熱性を有する材料で構成した構造をいいます。  
※3 「ガラス」は、アルゴンガス又は熱貫流率がこれと同等以下のものをいいます。  
※4 国立研究開発法人建築研究所ホームページ「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の熱貫流率及び熱貫流率(窓等の大部分がガラスで構成される開口部)の熱貫流率の表及び付属資料が付き与えられる場合、風險差に面する場合は計算式によります。  
尚、本表は、一般社団法人 日本ガラス協会のホームページでも確認できます。  
[https://www.jgma.or.jp/Portals/0/Content/energy\\_20180501.pdf](https://www.jgma.or.jp/Portals/0/Content/energy_20180501.pdf)